

## 平成 30 年産 茶の生産状況について

### 1. 新茶(一番茶)の生産状況

#### (1) 生育状況

- ・本年 1 月下旬から 2 月下旬にかけて低温寡雨となったことにより、茶葉が変色したり茶園の一部が枯れるなどの「寒干害」の症状が発生。

甲賀市土山町:約 48ha(土山地域の約 3 割)、同市信楽町:約 51ha(信楽地域の約 6 割)

- ・ 3 月以降は気温は高く推移し、茶の新芽の出始め(萌芽期)は、滋賀県においてこれまでで最も早い 3 月 31 日となり、茶の生育は平年より 1 週間程度早く進んだ。
- ・ 寒干害により変色や一部枯死した茶園では、4 月下旬以降、茶園によりその程度の差が大きいものの、新芽が再生し回復が見られた。(下写真参照)

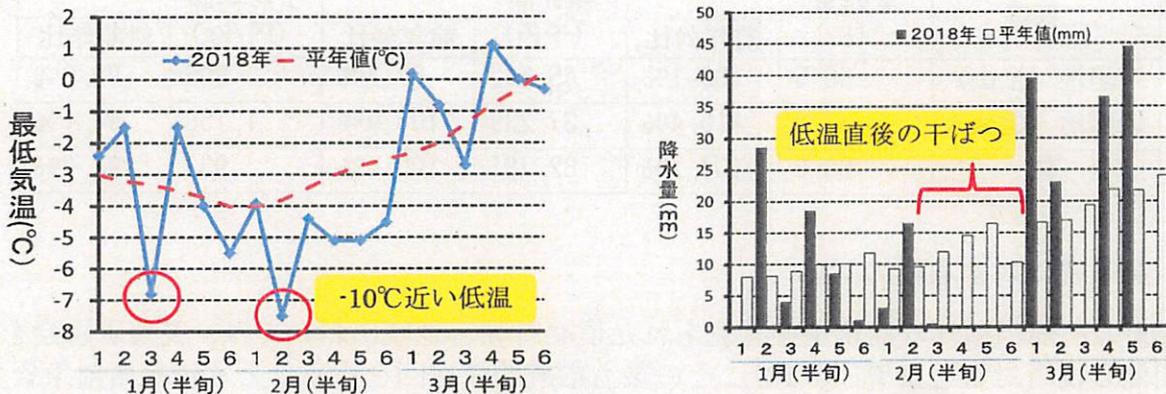


図 1 2018 年 1～3 月のアメダスの気象 (信楽町牧町: 左から最低気温、降水量)



スポット状に枯れる症状が発生 (H30. 4. 13 信楽)



新芽の再生が見られ生育が回復 (H30. 5. 11 信楽)

#### (2) 農家調査

- ・ 一番茶の収穫後に甲賀農業農村振興事務所農産普及課と農業技術振興センター茶業指導所が連携し、「寒干害」の発生状況とともに発生原因を探るため、茶園の管理状況等についての聞き取り調査を実施。(土山町 24 戸、信楽町 29 戸)
- ・ 調査結果では、昨年の生産状況に対して、概ね前年並み～1 割の収量減。被害の大きな農家では、5 割減(1 名)、4 割減(1 名)との回答。平均すると、土山町では 5.2%、信楽町では 15.0%、全体では 8.6%の収量減。

### (3) 入札販売状況

- ・本県では、荒茶（煎茶およびかぶせ茶）の入札販売会が土山地域と信楽地域で実施されており、その結果は次表のとおり。
- ・土山では、平成30年春から新たにてん茶工場が稼働し、一番茶、二番茶ともにそれぞれ約20トンのてん茶が製造されている（入札販売会ではてん茶の取扱いはない）。

表1 荒茶（一番茶）の入札販売会の結果（全農滋賀県本部） 平成30年7月末現在

一番茶	販売量		販売高		平均単価	
	(ト)	前年対比	(千円)	前年対比	(円/kg)	対前年比
平坦地（土山）	90.8	90.7%	146,495	78.8%	1,614	86.9%
山間地（信楽）	48.9	97.6%	120,001	91.1%	2,452	93.3%
全体	139.7	93.0%	266,496	83.9%	1,908	90.2%

表2 荒茶（二番茶）の入札販売会の結果（全農滋賀県本部） 平成30年7月末現在

二番茶	販売量		販売高		平均単価	
	(ト)	前年対比	(千円)	前年対比	(円/kg)	対前年比
平坦地（土山）	56.5	106.1%	45,542	97.7%	806	92.0%
山間地（信楽）	32.2	110.4%	37,239	103.9%	1,156	94.1%
全体	88.8	107.7%	82,781	100.4%	933	93.2%

## 2. 寒干害に対する県の対応

- ・茶園の一部が枯れる症状が多く見られた信楽町朝宮地域においては、現地研修会を開催し技術対策を指導（3/12）。その後も継続的に巡回を行うとともに技術対策資料を提供（4/25）。
- ・被害茶園においては、一番茶の収穫後に、事後対策として、枯れた枝を除去し芽の再生を促すために、枯れた症状に応じて、「深刈り」※1 や「中切り」※2 といった茶樹の剪定作業を行うよう指導。
- ・「深刈り」は8ha、「中切り」は9haにおいて実施済。

※1 「深刈り」：茶園上面から10～20cm下のところで枝葉を刈り落とす作業

※2 「中切り」：深刈り面より下部で地際から30～50cmのところまで刈り落とす作業

〔参考〕

- ・甲賀市、JA甲賀および全農滋賀県本部が、中切りを行うための専用機械の導入を支援。
- ・被害を受けた茶園の樹勢回復のために追加で施用する肥料代に対して甲賀市が半額補助。

## 3. 今後の技術指導等

- ・農家調査によると、寒干害症状は、植えてから30年以上経過したいわゆる「老朽茶園」や、根の広がりや浅い所、風当たりが強いなどの気象条件、長期の被覆や剪定等の管理方法の違いなど、総じて樹勢の弱い茶園での発生が多く見られた。
- ・今後の茶園管理においては、過度の被覆を控え、夏期の整枝作業が遅くならないようにするなど、樹勢の低下につながらない管理を行うとともに、被害が大きく樹勢が弱まっている茶園については、改植により茶園の更新を図っていくよう技術指導。
- ・甲賀農産普及課において、茶の病虫害防除と寒干害を受けた茶園の事後対策、さらにはこの夏の高湿少雨の対策に関する研修会を、土山地域では7月30日、信楽地域では8月3日に実施。